

名誉会員 坂井利之 先生を偲ぶ

長尾 真

本会元会長 / 京都大学名誉教授

坂井利之先生が2017年8月16日に逝去されました。92歳でした。6月までは元気に過ごしておられたのですが、急に食欲をなくされ、2カ月して亡くなられたとのことであります。心よりお悔やみ申し上げます。

先生は京都大学工学部電気工学科をご卒業後、大学院特別研究生となりマイクロ波の研究に従事されましたが、前田憲一氏が当時の郵政省電波研究所から京都大学に新設された有線通信工学講座の教授に着任されて、その助教授となりました。そこでどのような研究をすべきかを検討された結果、東京をはじめ全国の大学で通信伝送に関する研究がすでに行われている中で、通信伝送技術よりは通信の内容に関する研究をする方が将来のために良いとお考えになり、当時ほとんどなされていなかった音声波の分析と認識の研究することにされたと聞いております。先見の明があったと思います。

まずは零交差波分析に基づく5母音、単音節、連続母音、さらには簡単な単語を認識する“音声タイプ”を堂下修司氏（後に京都大学教授）と一緒に日本電気（株）の協力のもとに完成されました。これは当時世界的にも最先端のものでした。その後連続音声の認識など、さらに高度な音声認識システムの研究に展開していかれるとともに、研究の範囲を数字の文字認識に広げられ、これは東芝（株）の郵便番号読み取り装置の第1号機となって実用化されました。この研究は、ひらがな、漢字の認識研究、さらには人の顔画像の分析と認識に発展し、1970年の大阪万博の住友童話館で来館者の顔の特徴を調べて「あなたは吉田茂首相に似ています」といった返答を音声で返すデモシステムが作られ人気を博しまし

た。先生はこのように常に社会の役に立つ技術を念頭に置き、企業を巻き込んで研究開発をするという一貫した態度を持っておられたのです。

このようにして坂井先生の研究室はいわゆるパターン認識、情報処理研究の日本のメッカとして世界的に有名となり、パターン認識国際連盟の会長も務められました。先生は通信の世界でも特に計算機間通信の実用化に尽力され、東京大学の猪瀬博教授、NTTと協力していくつかの大学の大型計算機センターを結ぶ学術ネットワークを開発し、今日の大学間ネットワークの基礎を築かれました。

坂井先生は龍谷大学の理工学部設立にかかわられ、京都大学退官後龍谷大学理工学部長に就任され、学内のLANを整備し、各種のWS、PCなどの機器が教育・研究に使えるシステムを構築されるなど教育情報処理に関する研究も進められました。先生は今日でいうところのマルチメディア情報学の黎明期のパイオニアとしての活動の中心人物であり続けられました。

このような研究・教育活動を通じて、先生は多くの人材を育成されました。これらの人たちは現在日本各地で活躍しておられます。学会活動としては本会会長のほかに、電子情報通信学会その他の学会でいろいろと活動され、大きな貢献をされました。これらの先生のご業績に対して、本会、電子情報通信学会、その他から論文賞、功績賞など、さらに高柳記念賞、C&C賞、大川賞など、多くの賞を受けられ、紫綬褒章、勲二等瑞宝章、文化功労者の栄に輝かれました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(2017年8月25日)

御 略 歴

1924年10月19日	大阪府高槻市生まれ
1947年 9月	京都帝国大学電気工学科卒業
1952年 9月	京都大学大学院特別研究生修了
1952年10月	京都大学講師 (工学部)
1953年12月	京都大学助教授 (工学部)
1954年12月	京都大学工学博士取得
1960年 2月	京都大学教授 (工学部)
1982年 5月～1984年 7月	文部省大学局科学官併任
1984年 7月～1986年 4月	文部省高等教育局科学官併任
1985年 7月～1988年 7月	日本学術会議第13期会員 (情報学)
1988年 4月	京都大学名誉教授
1988年 4月～1998年 3月	龍谷大学教授 (理工学部)
1988年 7月～1991年 7月	日本学術会議第14期会員 (情報学)
1989年 4月～1993年 3月	龍谷大学理工学部長
1993年 4月～1997年 3月	龍谷大学大学院工学研究科長
1998年 4月	龍谷大学名誉教授
2017年 8月	逝去 (92歳)

1960年 4月	情報処理学会入会
1966年 5月～1968年 4月	情報処理学会理事
1971年 5月～1973年 5月	情報処理学会理事
1973年 5月～1975年 5月	情報処理学会支部長
1978年 5月～1980年 5月	情報処理学会副会長
1983年 5月～1985年 5月	情報処理学会会長
1990年 5月	情報処理学会名誉会員
1990年 5月	情報処理学会功績賞

その他

1970年 3月～1974年 5月	文部省学術国際局学術審議会専門委員
1971年 2月～1976年 7月	科学技術庁電子技術審議会専門委員
1973年10月～1979年12月	通商産業省機械情報産業局産業構造審議会専門委員 (情報産業部会)
1975年10月～1976年 3月	文部省文明問題懇談会専門委員
1977年 7月～1983年 3月	文部省大学設置審議会専門委員
1979年 2月～1983年 3月	科学技術庁航空・電子等技術審議会専門委員
1980年 4月～1982年 5月	通商産業省機械情報産業局情報処理振興審議会委員
1983年 2月～1987年 1月	文部省学術国際局学術審議会専門委員
1984年 9月～1986年10月	IAPR (国際パターン認識連盟) 会長

受賞・栄誉

1968年11月	京都新聞文化賞
1975年10月	情報化貢献個人表彰 (通商産業大臣)
1986年 1月	財団法人高柳記念電子科学技術振興財団高柳記念賞
1990年 4月	紫綬褒章
1994年 5月	電子情報通信学会功績賞
1995年11月	勲二等瑞宝章
1995年11月	大川賞
1996年11月	文化功労者